

一般質問

6月定例会では23人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は8月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

※本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

6月7日(金)

- ・高橋 一 議員 4P
- ・中村かずひと 議員 4P
- ・八木 丈之 議員 4P
- ・岡本 将嗣 議員 5P
- ・市川 智明 議員 5P
- ・平松 邦江 議員 5P

6月10日(月)

- ・小林けいめい 議員 5P
- ・水谷千恵子 議員 6P
- ・河村 弘保 議員 6P
- ・島津 秀典 議員 6P
- ・大津乃里予 議員 6P
- ・竹山 聡 議員 7P

6月13日(木)

- ・井上 文男 議員 7P
- ・鶴飼 和司 議員 7P
- ・則竹 安郎 議員 7P
- ・森 ひとみ 議員 8P
- ・尾関 哲 議員 8P
- ・彦坂 和子 議員 8P

6月14日(金)

- ・宇山 祥子 議員 8P
- ・後藤美由紀 議員 9P
- ・渡部 晃久 議員 9P
- ・西脇 保廣 議員 9P
- ・柴田 雄二 議員 9P

高橋 一
新緑風会
議員

空き家対策について

- Q 空き家発生抑制にどう対処するか。
- A 建物の維持及び適正管理の啓発や専門家団体との連携を行っております。

競輪場跡地計画について

- Q 市営球場も併せて整備しプロ野球の呼べる球場にできないか。
- A すでに契約済みで、市営球場の拡張を提案することはできませんが、参考意見として申し伝えさせていただきます。

投票率について

- Q 投票率を上げるためには、過去の投

票動向の徹底分析が必要だと思う。アプローチの仕方が見えてくると思うが。

- A 投票者の分析を行うことは投票行動と今後の投票率向上の検討に有効であると考えます。

住宅事情について

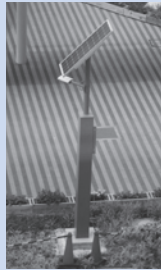
- Q ハウスメーカーにとって一宮市はドル箱だといわれている。子育て環境の充実など人を呼び込む政策が奏功しているか。
- A 一宮市の魅力を広く市外に発信しており、また、リニアインパクトを控え、駅周辺では、住宅のみでなく商業・業務機能の集積も図っていきたいと考えています。



中村かずひと
新緑風会
議員

環境対策について

- Q 災害対策および低炭素化を後押しする蓄電池を活用した街路灯、特に道路照明灯普及の取り組み推進についてお尋ねする。
- A 今後の技術革新の状況を注視しながら、総合的に判断し、検討してまいります。
- Q 建物で消費する年間一次エネルギー収支のゼロを目指した建物として、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）がある。公共施設建設・修繕時における蓄電池を活用したZEB化についてお尋ねする。



- A 公共施設のZEB化については、国などの施策や普及の動向を注視してまいります。

骨髄移植ドナー支援について

- Q 骨髄移植ドナー支援として、骨髄提供者への助成制度の実施についてお尋ねする。
- A 骨髄提供者への助成制度の導入に関しては、他の自治体等の動向を踏まえながら、前向きに検討してまいります。

その他の質問項目

- ・中小企業振興基本条例について



八木 丈之
令和会
議員

一宮市の財政状況と今後の方向性について

- Q 平成29年度の決算状況と特徴についてお尋ねする。
- A 平成29年度から予算編成の手法を大きく見直し、「一般財源配分方式」を取り入れると同時に、所管する事業を「主要事業シート」で管理し、担当課自らが費用対効果を検証し、「スクラップ・アンド・ビルド」に努めることとしました。
- Q 平成30年度はどうか。
- A 平成30年度は、「第7次一宮市総合計画」がスタートした年で、財政調整基金の残高確保と市債残高の圧縮を二大目標としました。現状は、「一宮市中長期財政計

- 画」に沿って推移しています。
- Q 令和元年度の予算編成についてお尋ねする。
- A 歳出で扶助費の伸びが近年顕著で、財政の自由度が低くなっています。当初予算では、32億円の財政調整基金を取り崩して財源不足を補っています。
- Q 中核市を見据えた今後の一宮市の方向性については、事業の見直し、役割を終えた事業の廃止も必要と考えるがどうか。
- A 事業のスクラップが進んでいないことを踏まえ、より厳格な見直しと改善に全庁で取り組んでいきたいと考えています。



令和会
岡本 将嗣
議員



大津市の事故を受けて、一宮市の交通安全対策について

Q 事故対策として、従来の『対症療法型』から、潜在的な危険個所を特定できる『交通ビッグデータ』を活用した生活道路の交通安全対策へ移行するとのことだが、現在の取り組み状況はどうか。

A 国土交通省から交通ビッグデータを、一宮警察署から交通事故データの提供を受け、対策エリアの選定作業を進めています。

Q 潜在的な危険個所を特定した交通安全対策として、通過交通の通り抜けルートの入口に入りにくくする『スムーズ歩道』や『ライジングボラード』、走行速度を減

速させる『ハンプ』などがあるが、市では今後どのような対策を考えているのか。

A 現在進めている委託業務の中で、アドバイザーとして有識者から助言や意見をいただき、現場に見合った効果的な交通安全対策を進めます。さらに地域の方々とも意見交換を重ね、その対策が受け入れられるように取り組んでまいります。

その他の質問項目

- ・災害時のトイレ（マンホールトイレ）について
- ・放課後のこどもの居場所について

公明党
市川 智明
議員



不育症、不妊治療への助成について

Q 不育症の治療費及び検査費について、本市では補助制度は無いが、他市の状況や今後の考えはどうか。

A 愛知県内では、東郷町と東海市で治療費等に対する助成を実施しています。本市においては、国や他の自治体の動向をみながら研究していきます。

市営住宅の申込資格について

Q 今回の民法改正や国土交通省からの通知では、連帯保証人の規定が変更となったが、一宮市では今後どのように対応していくのか。

A 愛知県及び県内主要都市では明確な結論を出しているところはまだなく、本市としても、引き続き他自治体の動向を注視しながら検討していきます。

小・中学校教員の多忙化解消について

Q 一宮市として大会等の引率ができ、単独での部活動指導も可能な「部活動指導員」の導入についてどう考えているか。

A 市内学校では、負担軽減のため複数の教員での部活動の指導や、部活動外部指導者を配置しています。いっそうの負担軽減に向け「部活動指導員」の導入については今後検討を進めていきます。

公明党
平松 邦江
議員



選挙の取り組みについて

Q 掲示板が強風で剥がれる事態が出ているので形態を変えてはどうか。また、期日前投票所の利便性を上げてほしい。

A 掲示板は他市の風対策や設置業者の意見を参考に検討いたします。期日前投票所は利用しやすい環境づくりに努めます。

成人用肺炎球菌予防接種について

Q 成人用肺炎球菌予防接種が令和5年度まで経過措置を延伸することが決定された。未だに接種されていない人に対して個別通知することを強く要望する。

A 65歳になられる方にはハガキでの

個別通知を行っております。その他は「健康ひろば」等で案内をし、対象となる希望者に申込をいただくこととしております。

第3次男女共同参画計画から

Q 消防職員、町会長の女性の採用や登用が目標値にほど遠い。消防団員、防災担当部局への登用を含め、強く推進してもらいたい。女性のがん検診受診率アップ、性的少数者への理解促進を進めてもらいたい。

A より一層推進されるよう、目標達成に向け、全庁的に取り組んでまいります。性的少数者への理解促進は職員の意識改革や理解促進への取り組みから検討します。

立憲民主党
小林 けいめい
議員



一宮市の児童虐待について

Q 児童虐待問題が社会問題になっている中、一宮市において過去にそのような虐待死があったのか。

A 一宮市では平成27年5月と平成28年12月に親子無理心中による児童虐待死事件が計2件ありました。

Q 直近3年間の市の児童虐待通告件数は何件か。

A 一宮市への児童虐待通告件数は、平成28年度が81件、平成29年度が71件、平成30年度が82件でした。

Q 一宮市は児童虐待に対してどのような体制で取り組んでいるのか。

A こども家庭相談室に有資格者を配属し、通告対応できる体制をとっています。

Q 虐待通告受理後の市の対応は。

A 48時間以内に家庭訪問等をして安全を確認し、保護者と面接をして今後の対応方針を決定し支援を実施します。

介護保険と高齢者福祉について

Q 介護保険サービスを利用するには要介護認定を受ける必要があるが、あんしん介護予防事業も要介護認定を受ける必要があるのか。

A 基本チェックリストを受け、対象者の方は介護予防サービスを受けられます。

公明党
水谷千恵子 議員



みんなで環境を守る取り組みを

Q 昨年3月の定例会で、食品ロスに関して市民の皆さんができる取り組みとして、まだ食べられる食品を捨ててしまうよりも必要としている方に届けて役立ててもらおう「フードドライブ」を提案した。昨年度より実施されたが、状況はどうだったか。

A 昨年度3回、今年度1回の合計4回開催し、延べ102名の方からお米や飲み物、缶詰など1246点の食品を持ち寄っていただきました。

Q 「食品ロス削減推進法案」が可決・成立し、事業者の取り組みも始められている。市においても啓発を進められたい。

A 飲食店や小売店向けの新たな啓発を検討してまいります。

Q 「冷蔵庫クリーンアップデー」など設け家庭での取り組みも実施してはどうか。

A 市の広報を活用し、食品を使い切る呼びかけなどさらなる食品ロスの削減に努めていきます。

Q ごみ減量のためにごみの分別について、今一度徹底を図ってはどうか。

A 市の広報やウェブサイトへの掲載、出前講座などにより周知を図っていきます。

その他の質問項目

・緊急通報システムの充実について

公明党
河村 弘保 議員



痛ましい交通事故を防ぐために

Q 自転車利用率が高い一宮市において、個々で加入している自動車保険や傷害保険などの個人賠償責任が、きちんと家族全員、網羅されているかどうか確認していただくため、名古屋市のよう自転車損害賠償保険等加入チェックシートというものの活用を推進してはいかがか。

A 現在、市ではこのようなチェックシートを提供することまでは考えておりませんが、自転車に関する交通安全教室等の機会をとらえまして、損害賠償保険等への加入を周知してまいりたいと考えております。

Q 自転車の「ながら運転」を規制する

条例は福岡県などで制定されている。条例作りは、自治体の本気度を示すひとつの姿勢であり学校や地域における啓発活動を大きく後押しする効果も期待できる。「ながら運転」の言葉を条例に追加できないか。

A 市では「一宮市交通安全条例」に基づき、自転車の安全利用の推進を図るとともに、平成28年度からの5か年計画である「第10次一宮市交通安全計画」において「ながらスマホ」や「ながら運転」の撲滅にも積極的に取り組んでおります。したがって、現時点では、新たに「ながら運転」等を規制する条例を制定することまでは考えておりません。

令和会
島津 秀典 議員



一宮市における民俗芸能の将来

Q 県や市から文化財指定を受けた民俗芸能に対し、市は現在どのような支援を行っているか。

A 博物館より補助金を交付しておりますが財政状況下、平成30年より段階的に削減しています。

Q 財政好転の折は、補助金の復元を強く要望したい。このほかどのような事業推進の取り組みをしているのか。

A 例年一宮市民会館で「民俗芸能のつどい」を開催しています。博物館では伝統芸能の保存継承に貢献するため、様々な機会でご公演をお願いしたいと考えております。



ラグビーワールドカップ2019と一宮市

Q 一宮市が世界の強豪2チームから公認キャンプ地に選ばれた経緯は。

A 公認チームキャンプ地の募集に対して、全国90もの自治体の中から、天然芝のフィールドや周辺環境の良さに加え、関係者の地盤づくり等の努力で選ばれました。

Q 強豪2チームを迎えるにあたって、通訳や練習サポーターなどのボランティア、また自邸などを休憩場所に開放を申し出る市民もいると聞かすが、その需要はあるか。

A チームのセキュリティを最重視し、組織委員会の職員や専属スタッフが帯同するため、ボランティアは必要としません。

真風会
大津乃里予 議員



公民館について

Q 公民館の役割と必要性とは何か。

A 地域に根ざした文化・学習活動、交流とふれあいの場として利用できる、地域の拠点施設としての役割を担っています。

Q 公民館が整備されていない連区はどこか。

A 起連区、三条連区、朝日連区です。

Q 1連区に1公民館設置の公約ないし方針が以前あったと思うが、いかがか。

A その方針を進めてきましたが、建替え等を伴う施設整備は、「一宮市公共施設等総合管理計画」に沿い、市の公共施設全体のバランスも考慮しながらとなります。

放課後児童クラブについて

Q 市内には小学校が42校あるが、全ての小学校区に整備されているのか。

A 全ての小学校区に整備し、利用希望の多い小学校区は、2つないし3つの放課後児童クラブを整備しています。

Q 床や建具の構造等、子どもにやさしい施設とは考えられないが、いかがか。

A 現在は安全に配慮した仕様となるよう整備しています。大規模改修の折には、子どもにやさしい施設整備に努めてまいります。



令和会
竹山 聡
議員



地域公共交通の活性化

Q バス運行の路線変更や拡大など、地域からの要望があった場合の一宮市の考え方はどうなっているのか。

A 要望があった場合は地域が主体となった協議会の開催をお願いしています。バス事業者は、営業路線の減便を行い、ドライバー人員をやり繰りしています。運行体制にも注意を払いながら慎重に総合的な判断をしていくこととなります。

Q 以前から定期券や敬老パスの要望をしているが、市の考えはどうなっているのか。

A 高齢者をはじめ多くの方が気軽にバスを利用できるように、事業者と協議しな

がら研究してまいります。

Q デマンド型の公共交通を含めた充実をさらに図っていただきたいが、市の考えはどうか。

A 公共交通を担うバスやタクシー事業者の現状は大変厳しい状況です。新たな取り組みとして、予約制の乗合タクシーであるiーバスミニを導入しました。今後の交通対策はバスだけに限らず、社会福祉法人の送迎車を利用した福祉施策との連携、地域住民や様々な分野との連携など、いろいろな角度から移動手段の選択肢を広げる取り組みも必要になってくると考えています。

令和会
井上 文男
議員



みんなでつくろう一宮の時代

Q 投票率はなぜ上がらないのか。18歳、19歳の方々が投票に行かないと、投票率は上がらないと思うがどうか。

A 若者が集まるイベントで啓発活動を積極的に実施していきます。

Q 特別養護老人ホームの入所者はどのように投票するのか。

A 不在者投票ができる施設に指定されていれば、施設長に申し出ることで、施設内で投票することが可能です。

Q 町内会が行う清掃活動の窓口が3課もあり、わかりにくいのではないか。

A 今後は3課で徹底した共通認識を持

ち混乱が無いように至急検討します。

Q 一宮市のPR、令和→万葉集→萩原の萬葉公園を何かPRできないか。

A 観光協会のウェブサイト、万葉公園を取り上げ、令和との関わりについて解説しながら観光地として広く紹介していきます。

Q 一宮市で発行する犬の鑑札のデザインを親しみやすいものに変えてはどうか。

A 令和3年4月に切り替えできる様に検討します。



真風会
鵜飼 和司
議員



一宮市の道路冠水・家屋浸水軽減対策

Q 総合治水計画における重点地区「第1・南部排水区」について、進捗および、効果の期待できる受益区域を伺う。

A 事業は平成25年度から令和7年度までの予定で、北は真清田神社から南は名古屋地方裁判所一宮支部まで、東は大江川から西はJR東海道本線までの約118haの区域で対策を行い、石山町や公園通3丁目、北園通1丁目、明治通5丁目などにおいて、過去最大の時間雨量112mmに対し、床上浸水の解消と床下浸水の軽減を図るものです。

Q 次に、重点地区「光堂川流域」について、光堂川から新堀川へのバイパス水路

整備が対策メニューとして追加されている。これまで、当事業計画の早期着工を要望してきたが、整備方法を確認させてほしい。

A 当事業において、これまで議員に尽力頂いており、完成に向けて引き続きの協力をお願いします。整備方法は、光堂川から新堀川まで一宮市南西流域の排水をショートカットするものです。平成18年度より実施の二級河川光堂川の改修事業とあわせて進めることが効果的と考えております。

Q バイパス水路整備により、宮地・花池・妙興寺・東宮重地区などの浸水被害が軽減されると期待してよいか確認する。

A そのとおりです。

令和会
則竹 安郎
議員



一宮市口腔衛生センターについて

Q 口腔衛生センターがあるききょう会館は、老朽化も進み、障害者にとって使い勝手が悪いと、市保健所を新設する際に、口腔衛生センター機能を保健所内に設置する検討はできないか。

A 中核市移行後、改めて市における保健医療のあり方や体制を検討していく中で、口腔衛生センターについても考えていきたいと思っております。

保育園について

Q 大津市での事故を受けて、一宮市ではどのような対応をしたか。今後、子ども

たちにとって貴重な園外活動が自粛されることはないか。

A 全保育園に対して注意喚起を行い、散歩コースなどの再確認による改善点をまとめ、全園で情報共有を図りました。安全対策をしっかりと行い、園外活動を続けていきます。

Q 保育所等施設管理計画に基づき、老朽化した施設を建て替える場合、財政面で有効な民営化を進めることになるのか。

A 民営化のメリットは大きいですが、受け手の事業者があつてのことであり、総合的に判断して進めていきたいと考えています。

森 眞風会
ひとみ 議員



不妊治療の支援について

- Q** 不妊治療費補助制度を利用される方の年齢層はどうなっているか。
- A** 30歳代が70%を占め、特に特定不妊治療では35歳～39歳で42%となっています。
- Q** 性別を問わず早期に、また気軽に不妊治療相談ができるよう専門相談窓口を設置できないか。
- A** 中核市へ移行し、保健所を持つ際に、改めて保健医療のあり方や体制を検討しながら、相談窓口の設置について考えます。
- Q** 不妊治療と仕事の両立について、市はどのような関わり方ができるか。
- A** 不妊治療の内容や補助制度、職場で

の配慮のポイントをウェブサイト等で広く周知します。



多機能トイレについて

- Q** 身体障がい者用トイレのマップを作ってほしい。
- A** ウェブサイト138マップに、該当するトイレのある公共施設の一覧を表示できるよう、実現に向け検討します。
- Q** 多くの方が利用できるように身体障がい者トイレの情報をオープンデータ化し公開することはできないか。
- A** 多方面で広く活用できるように実現に向け検討します。

尾関 眞風会
哲 議員



i-バス運行状況について

- Q** 西成連区にi-バスを運行することは可能か。
- A** 地域の協議会にて運行内容をまとめ、最終的に、地域公共交通会議にて協議し可否を決定します。
- Q** 近隣市と連携し、地域の要望するバスルートとすることは可能か。
- A** 他市の現状や課題等も考慮し、お互いにメリットがある場合には、研究する余地はあると考えています。
- Q** i-バス開通の有無により、免許自主返納時の支援に格差がある。平等かつ、それぞれの地域に合った支援は可能か。

A 地域の実状をふまえ、公共交通の利便性や利用者の公平性なども考慮し、研究してまいりたいと考えています。

公園の設置について

- Q** 市街化調整区域において公園を新しく整備するには、どのような方法があるか。
- A** 郊外のコミュニティの維持を目的とした地区計画等と併せた整備が考えられます。地区計画とは、地区レベルでまちづくりを進める計画です。住民が主体となり道路・公園等の配置、規模や建物に関する地区のルールを定めるものとなります。

彦坂 日本共産党一宮市議会
和子 議員



市民の暮らしを守るため、国民健康保険税の引き下げを

- Q** 国保税は、平成30年度・今年度で1人あたり平均計8,700円の引き上げとなっている。市民の暮らしと命を守るため、減免制度の拡充、一般会計の法定外繰入金増額で、国保税の引き下げを求める。
- A** 減免制度は、現在でも低所得者・子どもなどに対し幅広く実施しています。法定外繰入金は、国・県では解消・削減すべきとされていることから、増額は慎重に行う必要があります。29年度までの累積赤字が7億5,000万円をこえることから、現段階では税を引き下げ状況にはありません。

一宮平和都市宣言の立場で平和行政を

- Q** 防衛省から一宮市に適齢者の情報の提出を求める文書が届いているのか。
- A** 一宮市を始め全国の市町村に対し、毎年防衛大臣から市長宛に自衛官募集等の推進についての依頼文書が届いています。
- Q** 一宮市は、自衛隊愛知地方協力本部からの「住民基本台帳の一部の写しの閲覧請求」に基づき、閲覧を認めているとのことであるが、どれだけの情報が閲覧されているのか。
- A** 自衛隊愛知地方協力本部の閲覧は、平成29年度は1,353名、平成30年度は1,451名です。

宇山 立憲民主党一宮市議会
祥子 議員



高齢者の居場所づくり

- Q** 市内にあるおでかけ広場とふれあい・いきいきサロンの管轄と概要はどうか。
- A** おでかけ広場は高齢福祉課の事業です。高齢者をはじめ市民が気軽に立ち寄れる通いの場として、主に介護事業所、病院、地域のボランティアなどが運営しています。ふれあい・いきいきサロンは社会福祉協議会の事業です。地域住民による自発的な福祉活動の一環として、町内会や民生委員、ボランティアなどの団体が運営しています。
- Q** ご協力いただいているおでかけ広場やふれあい・いきいきサロンの主催者の声などは把握しているか。

- A** アンケートや交流会を行って主催者の皆さんの喜びや苦勞を把握しています。
- Q** こういった居場所を増やし、身近な存在になると良いと思うが、市は今後どのようにお考えか。
- A** 国は高齢者の居場所づくりを非常に重要視しています。市でも、第7次一宮市総合計画において地域の高齢者が出かけたくなる通いの場を令和4年度に380か所設けるという目標を定め、支援していきます。

その他の質問項目

- ・ 運転免許証返納後の交通手段
- ・ ハラスメント対策～一宮市～

後藤美由紀
維新一宮市議会
議員



一宮市立保育園について

Q エアコンの全部屋への設置については、子どもの命にかかわる問題である。保育士の負担軽減のためにも、トイレの洋式化とあわせて早急に進めてもらえないか。

A 引き続き、園児や保育士にとって安心、安全な保育環境の整備に努めていきたいと考えています。

Q 年少クラスで、オムツを使用する子どもが平均4割と増えていることもあり、保育士にかかる負担が増えている。保育士の負担軽減に向けて何か行っていることはあるか。

A 40園に臨時事務職員を配置しており、

今後も増やしていきたいと考えています。

Q 臨時職員として働く保育士の給与の見直しは検討できないか。

A 地方公務員法の改正に伴い、令和2年度から見直す予定です。

Q 全国には保育士の資格を持っているが、出産などを機に保育の職から離れている方が70万人以上いる。そういう方の復帰支援や、資格を持たない方の雇用を行っている自治体もあるが、市として人材確保に向けて取り組んでいることはあるか。

A 幼稚園教諭や小学校教諭などの保育士以外の有資格者の活用に取り組み始めました。様々な方法で人材確保に努めます。

渡部
令和会
晃久
議員



アイプラザ一宮について

Q 講堂や小ホールなど施設の規模に対し駐車台数が少ないと感じる。立体駐車場の建設など駐車場を増やすことは困難か。

A 土地の無償貸付契約には令和12年度末までに更地にして愛知県へ返還をすることとされており難しく、引き続き温水プールとの共同使用や、周辺の私有地の更なる借り上げなどに努めてまいります。

市の競技施設について

Q 九品地公園競技場の管理棟は見た目老朽化が著しく、公園の駐車場不足も慢性化している。対策の計画はあるのか。

A 管理棟の耐震工事は未実施ですが安全上の支障は見受けられず、大規模改修は実施しておりません。今後は周辺施設の状況を見ながら引き続き検討してまいります。

市役所庁舎駐車場の活用について

Q 競輪場跡地の大型店舗の開業を控え、中心市街地が強い危機感を持っている。庁舎駐車場の閉庁日無料化や30分課金猶予など、活性化に向けた施策は行えないのか。

A 周辺事業者への影響や、駐車場本来の目的などから行っていませんが、市庁舎周辺の活性化につなげることを念頭に置きながら、研究してまいりたいと考えます。

西脇
新緑風会
保廣
議員



空き家等に関する対策の実施状況について

Q 侵入などが心配される空き家。市が保有する空き家所有者情報は警察に提供しているか。

A 個人情報保護条例等に沿ってしかるべき手続きが必要となる可能性があることから、空き家所有者情報の外部への提供はしておりません。

学校教育について

Q 教職員が精神的に体調を崩し、療養休暇や休職に入るといった話を聞くが、状況や対応はどうなっているか。

A 教職員数1,700名中、現在は療養休

暇と休職を合わせて6名となっております。原因は子どもの指導、保護者との対応、人間関係など多岐にわたります。こうした教職員に対しては、管理職が本人と面談したり担当医師より助言をいただいたりしながらサポートしております。

スポーツ施設の運営状況について

Q 民間事業者の指定管理者が公の施設を管理することのメリットは。

A 民間事業者の持つノウハウを活用し、多種多様な自主事業の開催や、専門知識を持った者による施設の維持管理などがあげられます。

柴田
公明党
雄一
議員



健康増進と医療費抑制に貢献の可能性のある鼻呼吸の習慣化について

Q □呼吸から鼻呼吸に変えることで、風邪やインフルエンザの感染防止になり、医療費の抑制にも効果があるとのこと。鼻呼吸にする訓練として、「あいうべ体操」があるが、保育園や小学校で実験的に取り組み検証を行なっていただけはないか。

A インフルエンザの予防は重要ですが、「あいうべ体操」の導入には、職員が効果や安全性などをよく理解し、保護者の理解も得なければなりません。保育園等では、まず「あいうべ体操」の効果や安全性などの検証を見守りたいと思います。

地方創生について

Q 来年度からの次期地方創生総合戦略は、どのように取り組まれていくか。

A 現在取り組んでいる総合戦略の実績や課題や市を取り巻く社会情勢の変化などを分析しながら、検討してまいりたいと考えております。

Q 鯖江市役所JK課や若者会議が目されている。市でも若者がまちづくりに参加できる機会を設けてみてはいかがか。

A 現時点で設置予定はございませんが、未来を担う若い方の意見や発想を取り入れることは重要です。様々な形で若い意見をお聞きしてまいりたいと考えています。